

日本学術振興会ワシントン研究連絡センター

NSF、がん研究・治療に大きな影響を与えるような生物物理学研究促進に向けて、官民パートナーシップを締結して総額1,150万ドルを助成（9月8日）

米国科学財団（National Science Foundation : NSF）は、国立がん研究所（National Cancer Institute : NCI）、エンタテインメント産業財団（Entertainment Industry Foundation : EIF）傘下のプログラムである「スタンド・アップ・トゥ・キャンサー（Stand Up To Cancer : SU2C）」、及び、がん研究V財団（The V Foundation for Cancer Research）と官民パートナーシップを締結し、がん研究及び治療に大きな影響を与える可能性のある、変革的・理論的生物物理学研究促進のために総額 1,150 万ドルを助成することを明らかにした。

同パートナーシップでは、NSF のアイデア・ラボ（Ideas Lab）に対し、NSF が 500 万ドル、NCI が 275 万ドル、SU2C とがん研究V財団が共同で 400 万ドルを、それぞれ助成する。アイデア・ラボでは、異なる研究分野の専門家から構成されるチームを対象に 5 日間の集中ワークショップを開催し、各チームに提案書案を策定させ、その後、選抜されたチームが、提案書を正式に提出して研究助成受給のためのコンペに参加することになる。

National Science Foundation, Public-private partnership funds \$11.5M in biophysics cancer research

http://www.nsf.gov/news/news_summ.jsp?cntn_id=132622&WT.mc_id=USNSF_51&WT.mc_ev=click